

Contents 59 高松塚古墳



Digital archive
詳しい情報はこちら



1972年、発掘調査によって美しい壁画がみいだされ、有名になった古墳である。粘土と砂を交互に一層ずつ積みかためて築くなど飛鳥の古墳に特有の、特殊な構造を備えた終末期の古墳の一つである。

Directions
場所と行き方

場所／奈良県高市郡明日香村平田 444
交通／飛鳥駅から車で約5分

Contents 60 キトラ古墳



Digital archive
詳しい情報はこちら



キトラ古墳は、明日香村の南西部にある7世紀末から8世紀初め頃に造られた終末期古墳である。昭和58年（1983）、石槨内に極彩色の壁画が描かれていることがわかった。

Directions
場所と行き方

場所／奈良県高市郡明日香村阿部山 243
交通／壺阪山駅から車で約3分

Contents 61 光寿庵跡



Digital archive
詳しい情報はこちら



以前、礎石の一部が遺存していたという。線刻絵画瓦は有名で、役人、鳥、人物の足が描かれる。四重弧文軒平瓦は石橋廃寺、名張廃寺からも出土している。石橋廃寺との距離は近く、両寺院との関係が注目される。

Directions
場所と行き方

場所／岐阜県高山市国府町上広瀬
交通／上枝駅から車で約13分

Contents 62 石橋廃寺



Digital archive
詳しい情報はこちら



石橋廃寺は、礎石が見つかっており、塔心礎上面の柱座は長径1.2m、短径0.8mで平坦化し、中央に直径27cm、深さ9.5cmの舍利孔がある。礎石の大きさから、三重塔がそびえ建っていたものと思われる。

Directions
場所と行き方

場所／岐阜県高山市国府町広瀬町319-5
交通／飛騨国府駅から車で約3分

Contents 63 東寺



Digital archive
詳しい情報はこちら



東寺（とうじ）は、京都市南区九条町にある東寺真言宗の仏教寺院。昭和9年（1934年）に国の史跡に指定、平成6年（1994年）12月には「古都京都の文化財」として世界遺産に登録された。

Directions
場所と行き方

場所／京都府京都市南区九条町1
交通／京都駅から車で約6分

Contents 64 平安京跡



Digital archive
詳しい情報はこちら



平安京は、かつて日本の首都であった都市。桓武天皇によって長岡京からの遷都地に選ばれ、山城国に建設された。現在の京都府京都市・京都市街であり、当時の街路をほぼそのままに主要都市として現存している。

Directions
場所と行き方

場所／京都府京都市下京区中堂寺坊城町
交通／京都駅から車で約8分

Contents 65 近江大津宮跡



Digital archive
詳しい情報はこちら



昭和49年に発見された建物跡は、天皇の居所の内裏と政務を行なう朝堂院とを分ける内裏南門と想定され、復原すると東西7間と、南北2間で、その東西に掘立柱の複廊が付属している。

Directions
場所と行き方

場所／滋賀県大津市錦織2丁目8
交通／近江神宮前駅から車で約1分

Contents 66 長岡宮跡



Digital archive
詳しい情報はこちら



長岡京は、桓武天皇の命により、延暦3(784)年11月11日に奈良・平城京から、長岡村に遷された古代日本の都である。延暦13(794)年に京都の平安京に遷されるまでの10年間、当地一帯が日本の首都であった。

Directions
場所と行き方

場所／京都府向日市鶏冠井町山畑22
交通／西向日駅から車で約3分

Contents 67 難波宮跡



Digital archive
詳しい情報はこちら

奈良時代の神亀3年（726年）に聖武天皇が藤原宇合を知造難波宮事に任命して難波京の造営に着手させ、平城京の副都とした。中国の技法である礎石建、瓦葺屋根の宮殿が造られた。



Directions
場所と行き方

場所／大阪府大阪市中央区大手前4丁目1
交通／森ノ宮駅から車で約2分

Contents 68 石山寺



Digital archive
詳しい情報はこちら

滋賀県大津市石山寺辺町にある真言宗御室派の寺院。平安時代の古式を残す本堂、鎌倉時代の多宝塔（ともに国宝）などの建造物、仏像仏画、聖教類、『石山寺縁起絵巻』など多くの文化財を所蔵している。



Directions
場所と行き方

場所／滋賀県大津市石山寺1丁目1-1
交通／石山寺駅から車で約2分

Contents 69 東山道・赤坂宿



Digital archive
詳しい情報はこちら

赤坂宿は東山道時代から杭瀬川の舟待ち宿として存在していた杭瀬宿が発展したもので、江戸時代に川港（赤坂港）が整備されると物資の集散地として一層の賑わいとなった。



Directions
場所と行き方

場所／岐阜県大垣市赤坂町 251-5
交通／美濃赤坂駅から車で約2分

Contents 70 紫香楽宮



Digital archive
詳しい情報はこちら

この遺跡は紫香楽宮造営の一環として建てられた寺院の遺跡であって、後に甲賀宮国分寺となったと推定されている甲賀寺の遺構とみられ、東大寺に先立つ寺院の遺跡としても貴重である。



Directions
場所と行き方

場所／滋賀県甲賀市信楽町黄瀬
交通／紫香楽宮跡駅から車で約3分

Contents 71 恭仁京



Digital archive
詳しい情報はこちら

宮は平城宮を簡略化した程度で、南北750メートル、東西560メートルの南北に長い長方形。全体的に小規模であったとみられ、条坊制を示す遺構も確認されていない。



Directions
場所と行き方

場所／京都府木津川市加茂町例幣溝垣内
交通／加茂駅から車で約5分

Contents 72 東山神明神社



Digital archive
詳しい情報はこちら

東山神明神社は岐阜県高山市天性寺町に鎮座している神社。絵馬殿は元々高山城の月見殿だったと伝わる建物。昭和39年（1964）に岐阜県指定重要文化財に指定された。



Directions
場所と行き方

場所／岐阜県高山市天性寺町71
交通／高山駅から車で約5分

Contents 73 田上家住宅



Digital archive
詳しい情報はこちら

田上家当主田上太郎四郎が、日下部家住宅を造った川尻治助に依頼した農家建築で、明治15（1882）年に建てられた。町屋建築である日下部家住宅と共通の意匠を取り入れた、棟梁の技が光る近代民家建築の代表作。



Directions
場所と行き方

場所／岐阜県高山市丹生川町根方 532
交通／高山駅から車で約 20 分

Contents 74 二荒山神社



Digital archive
詳しい情報はこちら

かつての下野国（現在の栃木県）の神である二荒神に関する神社である。二荒山神社・二荒神社は、二荒神を祀って建立された神社、または二荒山神社を勧請して建立された神社である。



Directions
場所と行き方

場所／栃木県日光市山内 2307
交通／日光駅から車で約 8 分

Contents 75 日光山輪王寺大猷院



Digital archive
詳しい情報はこちら

日光山輪王寺にある3代将軍家光の霊廟（れいびょう）で世界遺産に登録されている。日光東照宮に比べて規模が小さく華やかさは抑えられていますが、建物は本殿、相の間、拝殿が国宝となっている。



Directions
場所と行き方

場所／栃木県日光市山内 2300
交通／日光駅から車で約7分

Contents 76 下原八幡神社（水無八幡宮）



Digital archive
詳しい情報はこちら

皇弟進軍の各所において同様祭祀された、すなわち中津原をはじめ、乗政・森・久津・位山・一宮・石浦・高山等の八幡宮を後世称して、「飛騨八幡八社」と言う。

Directions
場所と行き方

場所／岐阜県下呂市金山町中津原
交通／飛騨金山駅から車で約5分



Contents 77 乗政八幡神社



Digital archive
詳しい情報はこちら

第16代仁徳天皇の65年、両面宿禰追討の際、武振(たけふる)熊(くまの)命が中津原をはじめとして、官道のところどころに先帝応神天皇の尊霊を祭祀した、「飛騨八幡八社」の1であると言われている。



Directions
場所と行き方

場所／岐阜県下呂市乗政 852
交通／下呂駅から車で約13分

Contents 78 日龍峯寺



Digital archive
詳しい情報はこちら

本堂は間口6間(15.6m)奥行5間(12.6m)の入母屋造りで、堂内正面にはご本尊の千手千眼観世音菩薩、脇佛は毘沙門天・不動明王、堂内東側には寺開創の両面宿禰、堂内西側には弘法大師が祀られている。



Directions
場所と行き方

場所／奈良県高市郡明日香村阿部山 243
交通／壺阪山駅から車で約3分

Contents 79 飛鳥寺



Digital archive
詳しい情報はこちら

発掘調査の結果、塔を中心に三方に金堂を置き、北側に講堂、南側に中門・南門の跡があることが判明。寺域は南北 290m、東西 200～250m の規模を持ち、飛鳥では大官大寺とともに、最大規模の寺院であった。



Directions
場所と行き方

場所／奈良県高市郡明日香村飛鳥 682
交通／岡寺駅から車で約 8 分

Contents 80 福原京



Digital archive
詳しい情報はこちら

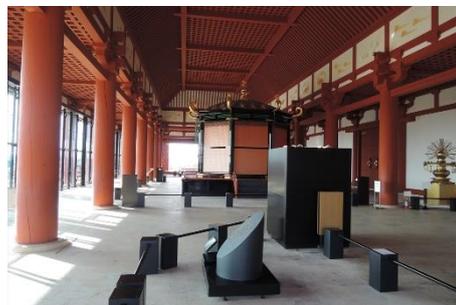
福原京（ふくはらきょう）は、平安時代末期の治承 4 年（1180 年）、計画のみに終わった和田京に続いて、平清盛の主導で造営が進められた日本の首都の通称。



Directions
場所と行き方

場所／兵庫県神戸市兵庫区福原町
交通／湊川駅から車で約 2 分

Contents 81 第1次平城宮



Digital archive
詳しい情報はこちら

奈良文化財研究所によるこれまでの発掘調査の結果、平城宮は四角形ではなく東側に張出し部を伴っていたことや、政治の中心施設である大極殿と朝堂院の区画が東西2ヶ所あったことなどが明らかになっている。



Directions
場所と行き方

場所／奈良県奈良市佐紀町247-1
交通／大和西大寺駅から車で約5分

Contents 82 第2次平城宮



Digital archive
詳しい情報はこちら

第2次平城宮は和唐折衷(わとうせっちゅう)の宮城である。礎石・瓦葺き・朱塗り柱という唐風(からふう)の様式をとり、7世紀になってから加わった新式の宮殿。



Directions
場所と行き方

場所／奈良県奈良市
交通／大和西大寺駅から車で約6分

Contents 83 藤原京



Digital archive
詳しい情報はこちら

歴代遷宮を繰り返していた宮都が、わずか15年ほどの短い期間とはいえ、3代にわたって藤原京に定着したことは、条坊制による京の施行と、瓦葺き宮殿の採用とともに画期的なことであった。



Directions
場所と行き方

場所／奈良県橿原市飛騨町
交通／畝傍駅から車で約6分

Contents 84 飛鳥浄御原宮



Digital archive
詳しい情報はこちら

掘立柱列で囲まれた東西約156m、南北約197mの長方形の区画（内郭）と、その南半では中軸線上に位置する門と建物、北半ではここに復元したような高床式の大きな建物や大井戸など多くの遺構が検出された。



Directions
場所と行き方

場所／奈良県高市郡明日香村岡
交通／岡寺駅から車で約7分

Contents 85 豊浦宮



Digital archive
詳しい情報はこちら



552年（欽明天皇13年）百済の聖明王が朝廷に献上した金銅の釈迦佛（日本初渡来の仏像）を蘇我稲目がたまわり、向原の家を浄めて寺としたのが始まりで日本初の寺とされている。

Directions
場所と行き方

場所／奈良県高市郡明日香村豊浦 637
交通／橿原神宮前駅から車で約6分

Contents 86 難波長柄豊崎宮



Digital archive
詳しい情報はこちら



難波宮は大阪の上町（うえまち）台地の北端を利用して造られた宮跡。宮城の中心部に、朝堂・内裏前殿（大極殿）・内裏の区画が南から一直線上に並ぶ威容は、先進国である大陸王朝の宮殿の制度をまねたもの。

Directions
場所と行き方

場所／大阪府大阪市中央区6
交通／森ノ宮駅から車で約1分

Contents 87 飛鳥川原宮(橋寺)



Digital archive
詳しい情報はこちら



奈良県高市郡明日香村にある天台宗の寺院。橋寺の付近には聖徳太子が誕生したとされる場所があり、寺院は聖徳太子建立七大寺の1つとされている。

Directions
場所と行き方

場所／奈良県高市郡明日香村川原
交通／岡寺駅から車で約6分

Contents 88 飛鳥川原宮(川原寺)



Digital archive
詳しい情報はこちら

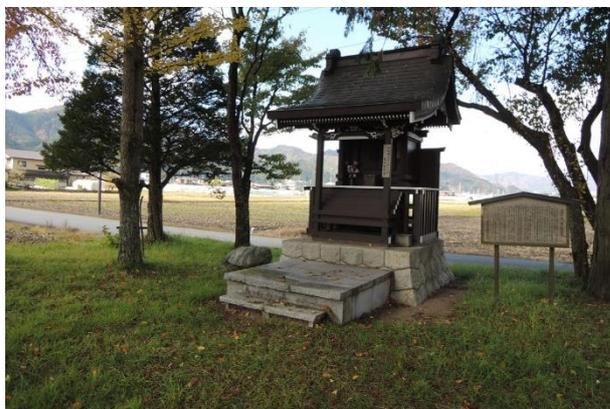


川原宮は、7世紀中期の斉明天皇が営んだ宮。天武天皇の時代に近畿・東海地域の古代寺院に多くみられた川原寺式軒瓦が使われており、壬申の乱で功績のあった氏族の寺院と関係のあったものと考えられている。

Directions
場所と行き方

場所／奈良県高市郡明日香村川原
交通／岡寺駅から車で約6分

Contents 89 塔の腰廃寺



Digital archive
詳しい情報はこちら

古くからこの地に瓦が出土し、国分尼寺とする言い伝えもある。塔の前、塔の本の小字が以前はあった。現在は区有地 120 坪が残り、大坪東平の名作大日如来をまつて、「大日の森」と呼ばれている。



Directions
場所と行き方

場所／岐阜県飛騨市古川町上町
交通／飛騨古川駅から車で約 6 分

Contents 90 上町廃寺



Digital archive
詳しい情報はこちら

重圏文縁軒丸瓦と九弁軒丸瓦が塔の腰廃寺と、十弁軒丸瓦（弁が二重線となるもの）が古町廃寺と共用される。重圏文縁軒丸瓦は丸山古窯の生産、間弁端に独得の飾りを施す軒丸瓦群は釜洞古窯の生産である。



Directions
場所と行き方

場所／岐阜県飛騨市古川町上町
交通／飛騨古川駅から車で約 6 分

Contents 91 古町廃寺



Digital archive
詳しい情報はこちら



宮川と荒城川の合流地点を中心に広がる古川盆地の中央、宮川右岸に位置する。瓦集中地区には約 2,000 点の瓦が出土、厚さ 20~25 cm 前後の包含層を形成していた。人為的投棄による副次的産物と考えられている。

Directions
場所と行き方

場所／岐阜県飛騨市古川町向町
交通／飛騨古川駅から車で約 5 分

Contents 92 沢廃寺



Digital archive
詳しい情報はこちら



古川盆地の東側、西向きの扇状地に立地し、古川盆地を見おろす好所であったが、県立吉城高校グラウンドの造成工事で全体が滅失している。発見遺物は、単弁八弁蓮華文軒丸瓦。年代は 7 世紀中葉の寺院である。

Directions
場所と行き方

場所／岐阜県飛騨市古川町上気多
交通／飛騨古川駅から車で約 6 分

Contents 93 山田寺



Digital archive
詳しい情報はこちら



桜井市大字山田に所在する。調査では、塔・金堂・講堂・回廊・僧房・宝蔵などが検出された。東面回廊が倒壊したままの状態で見つかるなど、飛鳥時代の建築様式を知る上で貴重な発見が相次いだ。

Directions
場所と行き方

場所／奈良県桜井市山田 1258
交通／桜井駅から車で約 11 分

Contents 94 石神遺跡



Digital archive
詳しい情報はこちら



水落遺跡とは東西大垣によって区切られるが、その北に広がるのが石神遺跡である。遺跡からは新羅土器や東国産の黒色土器などが出土し、迎賓館的な施設と推定されている。

Directions
場所と行き方

場所／奈良県高市郡明日香村飛鳥 112
交通／橿原神宮前駅から車で約 10 分

Contents 95 甘樫丘



Digital archive
詳しい情報はこちら

甘樫丘は、古くは日本書紀などの中にもその記述が見られ、7世紀前期には当時の有力者であった蘇我蝦夷、入鹿親子が大邸宅を構えていた場所であるとも言われている。



Directions
場所と行き方

場所／奈良県高市郡明日香村豊浦 788
交通／岡寺駅から車で約6分

Contents 96 野洲



Digital archive
詳しい情報はこちら

古代～現在の郡名。近江国12郡の1つ。郡名の初見は「持統紀」7年11月己亥の条。「日本書紀」に「益須郡」、「山背国愛宕郡計帳」に「夜珠郡」、「和名抄」に「野洲郡」とあり、「古事記」には「安国造」とある。



Directions
場所と行き方

場所／滋賀県野洲市小篠原
交通／野洲駅から車で約5分

Contents 97 五箇荘



Digital archive
詳しい情報はこちら



山前荘(やまさきのしょう)は鎌倉期から見える荘園名。神崎郡のうち。山前荘は織(きぬがさ)山の東麓に展開する地域で、一般には「山前五個荘」と称されている。五個は空閑(こかん)の転訛。

Directions
場所と行き方

場所/滋賀県東近江市五個荘金堂町 631
交通/五箇荘駅から車で約5分

Contents 98 不破の関



Digital archive
詳しい情報はこちら



不破関は軍事・警察の機能を兼備する重要な拠点であった。美濃国府の国司4等官が分番守固し、多くの兵士が配置されて国家の非常事態に備え、また一般の通行を取締っていた。

Directions
場所と行き方

場所/岐阜県不破郡関ヶ原町
交通/関ヶ原駅から車で約6分

Contents 99 美濃国分寺



Digital archive
詳しい情報はこちら

美濃国分寺は、わずかに塔跡を残すのみで地中に埋もれていたが、昭和43年度（1968）から始まった発掘調査によって、伽藍の大部分が明らかとなった。伽藍の範囲は東西230m、南北250m以上ある。



Directions
場所と行き方

場所／岐阜県大垣市青野町
交通／美濃赤坂駅から車で約10分

Contents 100 長良北町



Digital archive
詳しい情報はこちら

長良川中流右岸に位置する平坦地。対岸に金華山がそびえる。明治30年～現在の大字名となった。はじめは長良村であったが、昭和7年からは岐阜市の大字となった。



Directions
場所と行き方

場所／岐阜県岐阜市長良福光
交通／岐阜駅から車で約15分

Contents 101 下之保



Digital archive
詳しい情報はこちら

下保とも書く。長良（ながら）川支流津保（つぼ）川流域の山麓、津保谷の入口付近に位置する。地名は、津保川流域を上・中・下に分け、下流部に当たることによる。



Directions
場所と行き方

場所／岐阜県関市下之保
交通／富加駅から車で約20分

Contents 102 神 湫



Digital archive
詳しい情報はこちら

飛騨川支流神淵川の上流域に位置する。東北部の天王山（御佩（みはき）山とも）上に神淵十郷の総社御佩大明神（神淵天王社）が鎮座。安貞元年御佩郷を神淵・麻生（あそう）・村君・津保（つぼ）の4邑に分けた。



Directions
場所と行き方

場所／岐阜県加茂郡七宗町神湫
交通／上麻生駅から車で約15分

Contents 103 菅 田



Digital archive
詳しい情報はこちら

馬瀬（ませ）川支流菅田川流域に位置する。古代から美濃国武芸（むげ）郡九郷の1つとして、平安期に見える郷名の菅田郷とよばれた。中世に入ってから菅田郷とよばれた。



Directions
場所と行き方

場所／岐阜県下呂市
交通／飛騨金山駅から車で約11分

Contents 104 金 山



Digital archive
詳しい情報はこちら

益田（ました）・馬瀬（ませ）両川合流点付近一帯。濃飛両国の境で、飛騨益田郡、美濃郡上（ぐじょう）・加茂・武儀（むぎ）の各旧郡の接する地。地名の由来は、昔当地で金が採鉱されたことによるという。



Directions
場所と行き方

場所／岐阜県下呂市金山町
交通／飛騨金山駅から車で約8分

Contents 105 下原八幡神社



Digital archive
詳しい情報はこちら



本殿の左側の注連を廻らした大岩を、昔から猫の形に似てもいないのに「ねこ岩」といっている。武振熊がこの大岩の上に八幡様を勧請されたので、難波根子武振熊命の「ねこ」から来たものといわれている。

Directions
場所と行き方

場所／岐阜県下呂市金山町中津原
交通／飛騨金山駅から車で約5分

Contents 106 火打峠



Digital archive
詳しい情報はこちら



益田（ました）川流域左岸、中津原（なかつはら）の北に位置する。東方へ谷に沿って奥洞・野首の集落があり、火打峠を越えて火打に出る。江戸初期には支村名野首をもって称した例もある。

Directions
場所と行き方

場所／岐阜県下呂市火打
交通／焼石駅から車で約7分

Contents 107 乗 政



Digital archive
詳しい情報はこちら

乗政は則正とも書いた。竹原川支流乗政川の流域に位置する。地名の由来は吉川遠江守則正が当地に居城を築いたことによる。昭和 30 年から下呂町の大字となった。



Directions
場所と行き方

場所／岐阜県下呂市乗政
交通／下呂駅から車で約 20 分

Contents 108 初矢峠の石畳



Digital archive
詳しい情報はこちら

飛騨と美濃を結ぶ街道を東山道支路、東山道支路と東山道（後の中山道）を結ぶ街道を南北街道と言い、これを土地の人が鎌倉街道と呼んでいたことから、別名、鎌倉街道石畳とも言う。



Directions
場所と行き方

場所／岐阜県下呂市小川
交通／下呂駅から車で約 10 分

Contents 109 下呂解脱観音



Digital archive
詳しい情報はこちら



下呂市下呂町森(駅家推定地)を過ぎた飛騨支路は、下呂市小川の解脱観音ところから山道となる。解脱観音の脇を上がるとすぐに石畳の道が始まり、初矢峠へとつながる。

Directions
場所と行き方

場所/岐阜県下呂市小川
交通/下呂駅から車で約5分

Contents 110 下呂



Digital archive
詳しい情報はこちら



下之留がなまって下呂になったと推定されている。下呂町森、湯ノ島村は益田川流域左岸に位置する。森、湯ノ島村の内、どちらの方に駅家があったのかは分からないが、森八幡神社の歴史は古く、森村あたりと思われる。

Directions
場所と行き方

場所/岐阜県下呂市
交通/下呂駅から車で約2分

Contents 111 上 呂



Digital archive
詳しい情報はこちら



益田川左岸の段丘上に位置する。東は急峻な山を背にし、西は益田川の広い川原をはさんで羽根と相對する。旧来の益田街道は現在の国道と左右に離合しながら南の萩原方面より北進し、宮田を経て小坂に達していた。

Directions
場所と行き方

場所／岐阜県下呂市萩原町上呂
交通／上呂駅から車で約5分

Contents 112 あさんず橋



Digital archive
詳しい情報はこちら



金森長近によって、現在の小坂町・久々野町を通る新しい道が開かれたため、険しい位山峠は通らなくてもよくなり、この橋は廃止になった。萩原町指定史跡。

Directions
場所と行き方

場所／岐阜県下呂市萩原町尾崎宇舟渡
交通／上呂駅から車で約3分

Contents 113 位山神社周辺



Digital archive
詳しい情報はこちら



位山街道を幕府の役人が絶えず往来するのみでなく、高山方面に所用のある一般人の通行も頻繁であり、皆の安穩を祈念して2尺位の白木丸太に神像を彫刻し、石築きの祠を造り、大山祇命と称し祭祀したのが始まり。

Directions
場所と行き方

場所／岐阜県下呂市萩原町山之口
交通／上呂駅から車で約20分

Contents 114 位山峠の石碑



Digital archive
詳しい情報はこちら



位山分水嶺の南東に位置し標高1,095m。明治中期までは萩原から位山峠・苅安峠を経て宮村に至る位山街道がよく利用されたが、飛騨川沿いに北上して宮峠越えに宮村に至る国道41号が開通してさびれた。

Directions
場所と行き方

場所／岐阜県高山市一之宮町段
交通／飛騨一之宮駅から車で約33分

Contents 115 飛騨支路・苅安峠



Digital archive
詳しい情報はこちら



位山の麓を通る位山道は、古代に飛騨と都とを行き来する「東山道飛騨支路」に始まる。飛騨国府から苅安峠、位山峠を通り、下呂へと至るこの道は、人とともに文化の橋渡しをする交流の道であった。

Directions
場所と行き方

場所／岐阜県高山市一之宮町刈安 7846 - 1
交通／飛騨一之宮駅から車で約 12 分

Contents 116 三仏寺廃寺



Digital archive
詳しい情報はこちら



当遺跡が立地する三福寺町は、大八賀川右岸にあって、高山市内旧市街地の北方にあたり、北山という小山の間にはさんでいる。「三福寺」という地名は江戸・金森時代以後のことで、それ以前は三仏寺と称されている。

Directions
場所と行き方

場所／岐阜県高山市三福寺町
交通／高山駅から車で約 9 分

Contents 117 東光寺跡



Digital archive
詳しい情報はこちら



東光寺は山口の来迎寺と共に後代千光寺の末寺で、永禄7年（1564）に武田勢のために焼かれたと言い伝えられている。当時千光寺は国内の一大教団で、その末寺末院別当社もおびたごしい数であった。

Directions
場所と行き方

場所／岐阜県高山市漆垣内町
交通／高山駅から車で約20分

Contents 118 名張廃寺



Digital archive
詳しい情報はこちら



名張廃寺出土の重弁軒丸瓦は、新羅の様式を取り入れたもの。飛騨で唯一の型式、東海地区でも珍しい瓦である。この瓦は石橋廃寺でも出土しており、軒丸瓦の共用関係が知られる。

Directions
場所と行き方

場所／岐阜県高山市国府町名張
交通／飛騨国府駅から車で約5分